

2026年度事業計画

(2026年4月1日から2027年3月31日)

公益財団法人 十六地域振興財団

1. 基本方針

十六地域振興財団では、2023年度に株式会社十六フィナンシャルグループ株式の信託受益権を取得し、2024年11月に新規公益目的事業として美術工芸品等展覧事業の内閣府認定を受けました。2025年11月にはクララザールじゅうろく音楽堂が10周年を迎え、著名アーティストによる10周年記念特別企画も開催、芸術文化の振興・支援に努めました。

引き続き、2026年度は地域発展に貢献すべく各事業の基本方針を以下の通りとします。

地域活性化支援事業については「岐阜県及び愛知県の経済発展のため全力を傾注する」ととし、地方公共団体や地域の公共的な団体との連携を深め、将来にわたり効果が期待できる事業に対し積極的に助成するよう努める。

奨学金給付事業については、「これからの岐阜県又は愛知県を担う若者の教育機会を経済的側面から支援し、もって人材の育成に寄与する」という本制度の創設趣旨に沿い、引き続き真に支援を必要とする有為な人材を選考するよう努める。

芸術文化の振興及び支援活動事業について、質の高い音楽芸術の提供に加え、新たに美術工芸品等を広く一般に公開し、地域住民の美術・文化に対する関心と認識を高め、共に「豊かで潤いのある生活および活力ある地域社会の実現に寄与する」ことを目的として、岐阜県及び愛知県内の芸術文化の普及・振興及び支援に努める。

2. 事業について

(1) 地域活性化活動支援事業について

① 助成の額

地域社会活性化をはかるための諸活動に対し6,000千円の助成を行う。

ア 地域の産業振興助成事業	1,000 千円
イ 社会生活環境整備助成事業	1,000 千円
ウ 文化・スポーツ・国際化活動等助成事業	3,000 千円
エ 研修会及び講演会の開催並びに人材育成助成事業	<u>1,000 千円</u>
上記助成事業別の内訳は目安とする。	計 6,000 千円

② 受付期間 通年受付

(2) 奨学金給付事業について

① 2026年度新規奨学生の募集、選考スケジュール

2026年度の新規奨学生として12名程度を予定。募集概要は次のとおり。

一人あたり支給額	年間 400,000 円×4年間（返済不要の給付型）
募集受付	2月13日（金）～4月3日（金）
一次選考(書面)	5月上旬
二次選考(書面・面接)	5月23日（土）予定

最終決定

6月上旬

奨学生決定証書授与式

10月下旬～11月上旬

② 採用年度別の人員、年間支給額の内訳

採用年度	人数（人）	一人当たり年額	総支給額
2023	10	400,000 円	4,000,000 円
2024	10	400,000 円	4,000,000 円
2025	11	400,000 円	4,400,000 円
2026	12	400,000 円	4,800,000 円
計	43	400,000 円	17,200,000 円

2026年度の奨学金給付事業の実払い額は17,200千円となりますが、2026年度奨学生12名の今後4年間分の給付予定額を2026年度に確保することが求められており、予算額としては19,200千円（年間400千円×12人×4年間）を計上します。

（3）音楽芸術文化の振興及び支援活動事業について

クララザールじゅうろく音楽堂にて行う音楽芸術文化の振興及び支援活動事業。
岐阜県及び愛知県の住民の音楽ニーズを捉えたコンサートおよび演奏機会を求める将来ある若手演奏家等のコンサートを企画・開催する（主催公演事業＝公益目的事業）。
ホールの空き時間の有効活用として地域住民に貸与し音楽芸術文化の発表の場を提供する（施設貸与事業＝収益事業）。

① 主催公演事業＝公益目的事業

年間7回の開催を予定

② 施設貸与事業＝収益事業

年間55回の貸与を予定

（4）美術芸術文化の振興及び支援活動事業について

新たな公益目的事業として、美術工芸品等を広く一般に公開し、地域住民の美術・文化に対する関心と認識を高めていく。建設中の十六オフィス&パークギャラリーでの、豊かで良質な絵画等の展示を行うため、その準備期間と位置づけ、寄贈作品については十六銀行本店での一部作品の展示を検討する。

（5）広報活動

ホームページをはじめ新聞、雑誌等多様な媒体を駆使し、それぞれに適した形にて各事業の成果を提供することで、当財団の公益的な活動に対する社会の認識が深まるよう努力する。

クララザールの自主公演については、リーフレットを提携音楽ホール（サラマンカホール、宗次ホール、ぎふ清流文化プラザ）等へ配置してクラシック音楽ファンへ訴求する。また、チケット販売を従来のセブンチケットに加え、クラシック音楽興行に強いイープラスにおいても実施することで、クラシックファンへの周知を図る。

以 上